

令和3年度「Plus One～世界へ漕ぎ出すプログラム～」実施報告

令和4年4月

日 付	活 動 名	参加者
4 月 30 日	★權風ゼミ① 「宙船から 365 日の紙飛行機へ」 講師：前高松高校校長 出射隆文 氏	31 名
5 月 12 日	●しまのみらいプロジェクト 第 1 回参加者説明会	9 名
6 月 1 日	●しまのみらいプロジェクト 第 2 回参加者説明会 この後、各チームに分かれて活動（放課後、休日、長期休業日等）	26 名
6 月 7 日	★權風ゼミ② 「コミュニケーションのコツ」 講師：社会福祉法人サンシャイン会施設長 川西剛 氏	3 年生 約 110 名
6 月 7 日	◎地域に帰ろう Day ～地域クリーン&訪問作戦～	約 260 名
7 月 2 日	●しまのみらいプロジェクト 活動中間報告	20 名
8 月 2 日	★權風ゼミ③ 「これからの世界を拓く年若き同志達へ」 講師：日本進路指導推進協議会会長 山口和士 氏	1・2 年生 55 名
8 月 3 日	★權風ゼミ④ 「コロナ禍にあつての志望大学突破戦略」 講師：日本進路指導推進協議会会長 山口和士 氏	3 年生 38 名
8 月 3 日	★權風ゼミ（大人版） 「親として子供を成長させる 10 の条件」 講師：日本進路指導推進協議会会長 山口和士 氏	保護者 30 名
9 月 15 日	★權風ゼミ⑤ 高校生レストランに参加しよう 講師：本校家庭科教員 この後、数回の準備活動	7 名
10 月 4 日	★權風ゼミ⑥ 「病院に関わる人々」 講師：小豆島中央病院副院長 本城康正 氏	15 名
10 月 25 日	○コミュニケーション能力育成プログラム ～瀬戸芸ガイドツアー①～ 瀬戸芸ガイダンス・ガイドにあたっての注意	6 名
10 月 31 日	○コミュニケーション能力育成プログラム ～瀬戸芸ガイドツアー②～ こえび隊によるガイドツアー	6 名
11 月 1 日	★權風ゼミ⑦ 教員になろう！～高校生のための教職説明会～ 講師：香川県教育委員会事務局職員 本校 OB の教職員	7 名
11 月 5 日	★權風ゼミ⑧ 「病院で働く人々」 講師：小豆島中央病院で働く専門家の人たち	14 名
11 月 6 日	◎第 2 回小豆島こどもサミット 小豆郡内小学校・中学校・高等学校代表生徒 （会場：本校）	18 名
11 月 8 日	★權風ゼミ⑨ ようこそ先輩！香川大学の学生との交流 講師：香川大学学生 3 名	14 名
11 月 13 日	◎オリーブ収穫ボランティア（池田港近辺のオリーブ畑）	約 150 名
11 月 14 日	○コミュニケーション能力育成プログラム ～瀬戸芸ガイドツアー③～ ガイド内容の検討・準備	6 名
11 月 15 日	●しまのみらいプロジェクト 「しまいろ」編集打合せ	18 名
11 月 20 日	○コミュニケーション能力育成プログラム ～瀬戸芸ガイドツアー④～ ガイド本番・振り返り	6 名
12 月 8 日	★權風ゼミ⑩ 「身の回りの DX！高校向けアプリ開発講座」 講師：香川大学学生 4 名（株式会社リコーの方々）	6 名

12月13日	★櫛風ゼミ⑪ 「星空の下のこどもたち」～ストリートチルドレンに学ぶ生き方～ 講師：NGO FREE SCHOOL 代表 寺本真将 氏	34名
12月19日	◎小豆島中央高校生レストラン（オリーブ公園 サン・オリーブにて） 来客数：100名	7名
12月20日	★櫛風ゼミ⑫ ようこそ先輩！外から見た小豆島 講師：せとうち観光専門職短大学生2名、准教授 石床渉 氏	1・2年生 約330名
12月20日	★櫛風ゼミ⑬ 成人年齢引き下げにともなう消費者教育 講師：京都産業大学法学部教授 坂東俊矢 氏	3年生 約130名
1月24日	●しまのみらいプロジェクト 「しまいろ」校正・配布計画	21名
3月17日	★櫛風ゼミ⑭ ふる里小豆島の魅力 講師：元土庄町長 三木佑二郎 氏	1・2年生 約290名
3月18日	★櫛風ゼミ⑮ のぞいてみよう関西大学 ～大学の学びを先取り～ 講師：関西大学職員	17名

学校独自プログラム

★ 櫛風ゼミ

主に放課後や長期休業日に開催。各界のプロや地域の方などから、自らの視野を広げ進路実現のためのヒントやきっかけを学び取る講座である。講義形式や対談形式、ワークショップなど携帯は様々で、生徒の興味・関心を喚起し、主体性や能力も高めることをねらいとする。



8月3日

「親として子供を成長させる10の条件」
日本進路指導推進協議会会長である山口和士先生をお迎えして、保護者対象に、これから進学を控えた高校生に対しての関わり方や心構えについて、ご講演いただきました。



11月8日 「ようこそ先輩！香川大学の学生との交流」

香川大学法学部、経済学部の学生3名から大学生活や大学での学びについてのプレゼンテーションをしてもらい、座談会で高校生の質問に答えてもらいました。



12月8日 「身の回りのDX！高校向けアプリ開発講座」

学生や企業の方のご支援のもと、ローコーディングによる「欠席連絡アプリ」の作成を課題として、アプリ開発の体験をしました。

◎ 地域行事等への参加

生徒会や文化部を中心に、地域の各種イベント等に出向いてパフォーマンスやボランティアを行うことを通して、生徒の成長や地域貢献の意識を育むことを目的としている。本校は小豆地域唯一の高等学校として、地域とのつながりを深めることをねらい、地域の要請に対し、できる限り参加をしている。今年も感染症拡大の影響で行事が中止になる中、感染症対策を講じながら数少ない機会を活かして地域に還元する活動を実施した。



11月6日 第2回小豆島こどもサミット
—小豆島のSDGs—

地域の小中学校が一堂に会し、こどもサミットを開催しました。本校生徒会役員がホスト役を務めて意見をまとめ、すべての学校で取り組んでいくことを決定しました。



11月13日 オリーブ収穫ボランティア
部活動を中心単位として、池田港近辺にあるオリーブ畑のオリーブの実を収穫しました。今年は参加者数に対して、実の成りが少なかったため、設定時間でほぼすべての実を収穫することができ、関係者の方の負担軽減にも貢献することができました。



12月19日
小豆島高校生レストラン
オリーブ公園さんのご協力のもと、生徒が夏休みから考案してきたオリーブを使った料理を地域の人々に提供しました。生徒中心で、調理、盛り付け、接客などを行い、とても好評でした。

しまのみらいプロジェクト

● しまのみらいプロジェクト

多くの高校生は卒業後、小豆島を離れる。その前に島の良さを再認識したり、ここで働く人たちの生き方に触れたりすることを通して郷土への愛着をもってもらい、将来は地元に戻ってくる若者を育成するというねらいをもったプロジェクトである。活動の成果は、フリーペーパー『しまいろ』を島内主要箇所に置いてもらうことで、島内外の人に広く高校生の活動をアピールすることを予定している。



7月30日 シーカヤック体験（ふるさと村）

小豆島ふるさと村さんのご好意により、シーカヤックの体験ツアーに参加させていただきました。小豆島から見る美しい夕景や自然と触れ合う楽しみを経験しました。体験後は島内外の人々に見どころやコロナ禍での今後の見通しについて取材をさせていただきました。



10月15日 小豆島遍路体験

常光寺副住職である大林慈空さんの手ほどきを受け、遍路の歴史や衣装をはじめお参りの仕方について体験しました。保安寺、佛谷山、西の瀧など学校近辺を半日がかりでまわってきました。小豆島とお遍路の関わりを学び、新たな小豆島の魅力を認識しました。



8月10日 小豆島町クリーンセンター訪問

実際に可燃ごみの焼却に関する業務や工程、資源ごみの処理現場について見学させていただきました。焼却炉の稼働状況や、ここ数年におけるごみの種類や量の変化についても丁寧な説明をいただき、小豆島のごみ事情についての現状を確認しました。



8月10日 小豆島町最終処分場見学

小豆島町坂手にある徳本最終処分場を訪れ、ごみ処理の実態や処分場の歴史について学びました。また新たに造成されている処分場も見学しました。小豆島の自然や景観とごみ処理の両立について課題意識を持ちました。

県機関と連携するプログラム

○ 瀬戸芸ガイドツアー

瀬戸内国際芸術祭で小豆島に訪れる島外や国外からの観光客とのコミュニケーションを通して、地元を深く理解する姿勢とコミュニケーション能力や意欲の向上を目的とする。

瀬戸内国際芸術祭実行委員会と連携し、瀬戸内国際芸術祭のレクチャーを受け、島内の作品を見た後、ガイドするポイントを設定し、実際にツアーガイドを行った。



10月31日 ～瀬戸芸ガイドツアー②～ こえび隊によるガイドツアー

小豆島の主要観光地と瀬戸内国際芸術祭の作品を中心に訪問し、こえび隊の方によるガイドを受けました。小豆島や作品の魅力を伝えるために、今一度自分たちがそれらを再確認して理解を深めることによって、当日ガイドのイメージをつかむとともに、地元への愛着をさらに深化させる訪問となりました。



11月14日 ～瀬戸芸ガイドツアー③～

ガイド内容の検討・準備

こえび隊によるガイドツアーを経て、自分たちがガイドしたスポットを最終確定し、そこに関する内容を深めたり整理したりしました。また、ガイドのしかたや表現方法について確認したり、英語でガイドをする生徒は英語に翻訳したりするなど、グループごとに準備を進めました。



11月20日 ～瀬戸芸ガイドツアー④～ ガイド本番・振り返り

島内外の大人を12名ほど迎えて生徒による小豆島・瀬戸芸ガイドツアーを実施しました。ツアー中は自身のエピソードやクイズなどを盛り込んで、ご参加いただいた方に楽しんでいただくとともに、自分たちが調べた小豆島のよさを伝えることができました。ツアー後の振り返り会では、よかった点や改善点などの意見をいただき更なる表現力の向上へのヒントをいただきました。